

公印省略

22 病防第 5 4 号の 2
平成 22 年 9 月 10 日

速報 第 2 号

関係機関団体の長 殿
各病害虫防除員 殿

福岡県病害虫防除所長

平成 22 年度病害虫発生予察速報第 2 号について

水 稻

1 病害虫名：トビイロウンカ

2 発生地域：県下全域

3 発生時期：9 月 2 半月の現況

4 発生量：平年並・前年より少

5 発生状況

(1) トビイロウンカの発生圃場率は 78.7%で平年より多く、前年並（平年 46.9%、前年 81.0%）であった（第 1 図）。10 株当たり成幼虫数別にみた発生圃場数は、1 頭以上 10 頭未満の圃場が最も多く全体の約 42%で、「発生なし」及び「1 頭未満」を含む 10 頭未満の圃場の合計は、全体の約 87%であった（第 2 図）。

(2) 発生量は 10 株当たり平均 4.0 頭で、9 月上旬の要防除水準とされる、成虫と老齢幼虫の合計 50 頭/10 株に該当する圃場はみられなかった（第 2 図）。

6 防除上注意すべき事項

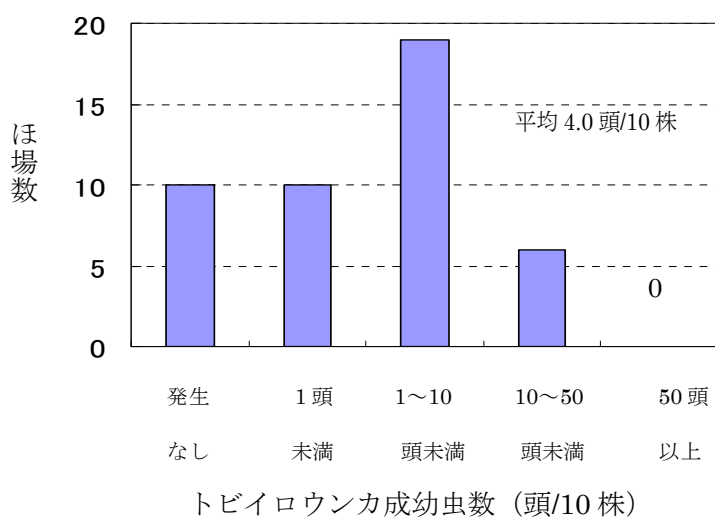
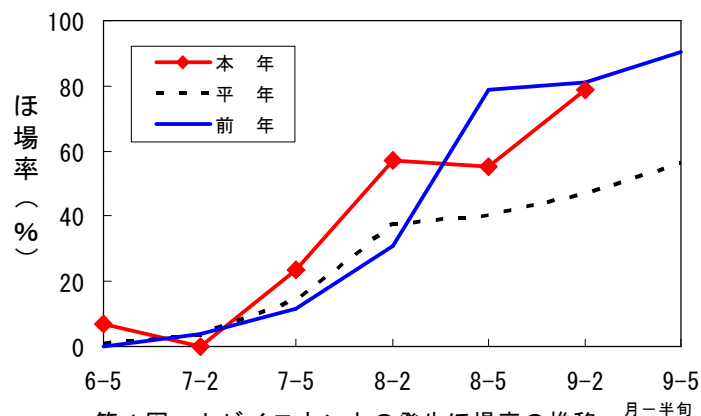
(1) トビイロウンカの発生は調査の範囲では少なかったが、坪枯れが発生した圃場もあるので、必ず圃場を調査して、発生量が要防除水準を超える場合は直ちに防除を実施する。

要防除水準：9月上中旬 10株当たりの成虫と老齢幼虫の合計 50頭

(2) 出穂期以後は薬剤が株元まで到達しにくくなるため、株元に確実に届くよう注意して散布する。

(3) 薬剤防除に際しては、必ず薬剤袋等のラベルに記載された対象病害虫名・使用時期等を確認し、使用規準を遵守する。

(4) 薬剤の散布時には、近隣作物（野菜等）や住宅街への飛散防止を徹底する。



第2図 トビイロウンカ密度別圃場数の頻度